

FAMOS DL350 フォーマット・インポート対応 DLL

取扱説明書

2019/08/29

A010-2685-90 Rev.A

“はかる”技術で未来を創る



改訂履歴

版数	改訂日	内容
Rev.A	2019/08/28	初版。

使用許諾

- 複製

お客様は、バックアップの目的でのみ本システム専用ソフトウェアの複製をすることができます。

- 制限事項

お客様は、本システム専用ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。

- 権利の帰属

本システム及び本システムに付属する取扱説明書、書類等の著作権、その他の知的財産権は、弊社に帰属します。

- 保証

検取後 1 年以内の弊社責任による不具合については、無償にて対応します。

- 責任の制限

万一、本システムにより損害が生じたとしても、弊社はその賠償責任を免れるものとします。

表記規則

本書は下記の表記規則に従って記述されています。

表記	説明
[File]	画面に表示されるウィンドウ上のメニューを表します。 (左記はメニューFileを表しています) 「 [File]-[Open…] をクリックする」は、メニュー[File]をクリックし、そのサブメニュー[Open…]をクリックする、という操作を表します。
<OK>	画面に表示されるウィンドウ上のコマンドボタン、チェックボックスなどを表します。 (左記はOKボタンを表しています。)

用語集

本マニュアルで使用する用語について説明します。

- **DL350**
横河電機社製のデータロガーDL350 を指します。
- **FAMOS**
imc 社製波形解析ソフトウェア imc FAMOS を指します。

目次

1. 概要	1
1.1. 目的	1
1.2. 動作環境	1
2. インストール・アンインストール	2
2.1. インストール	2
2.1.1. 概要	2
2.1.2. 手順	2
2.2. アンインストール	6
2.2.1. 概要	6
2.2.2. 手順	6
2.3. 手動インストール・アンインストール	7
2.3.1. 概要	7
2.3.2. インストール手順	7
2.3.3. アンインストール手順	7
3. 起動と終了	8
3.1. ソフトウェアの起動	8
3.2. ソフトウェアの終了	8
4. データ読み込み	9
4.1. DL350	9
4.1.1. 手順	9
5. DL350 読み込み情報	10

1. 概要

1.1.目的

本ソフトウェアは、DL350 の計測結果を、imc 社の FAMOS アプリケーションに読み込むためのソフトウェアです。

1.2.動作環境

本ソフトウェアを使用するにあたって必要な動作環境は以下の通りです。

- OS : Windows 7 Professional 64-bit 日本語版
Windows 7 Professional 32-bit 日本語版
Windows 10 Pro 64-bit 日本語版
Windows 10 Pro 32-bit 日本語版
- アプリケーション実行環境 :
 - Microsoft .NET Framework 4.0 以上
※.NET Framework4.0 は FAMOS のインストーラに含まれているため、本ソフトウェアにインストーラは含まれていません。
 - Microsoft Visual C++ 2017 (64-bit) / Microsoft Visual C++ 2017 (32-bit)
- 波形解析ソフトウェア : imc 社 FAMOS7.3 (64-bit/32-bit)

2. インストール・アンインストール

この章では、本ソフトウェアのインストール・アンインストール方法について説明します。

2.1.インストール

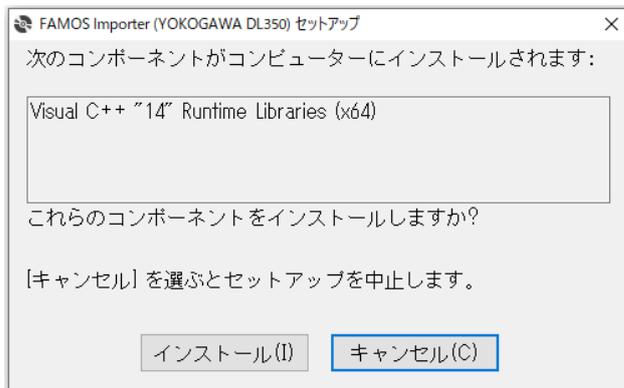
2.1.1. 概要

インストール手順は、setup.exe を実行するのみです。

※ただし、FAMOS の複数バージョンをインストールしているなど、特殊な環境でのインストールについては、「2.3 手動インストール・アンインストール」でインストーラを使わずにファイルコピーで必要なファイルを配置する手順が記述されています。

2.1.2. 手順

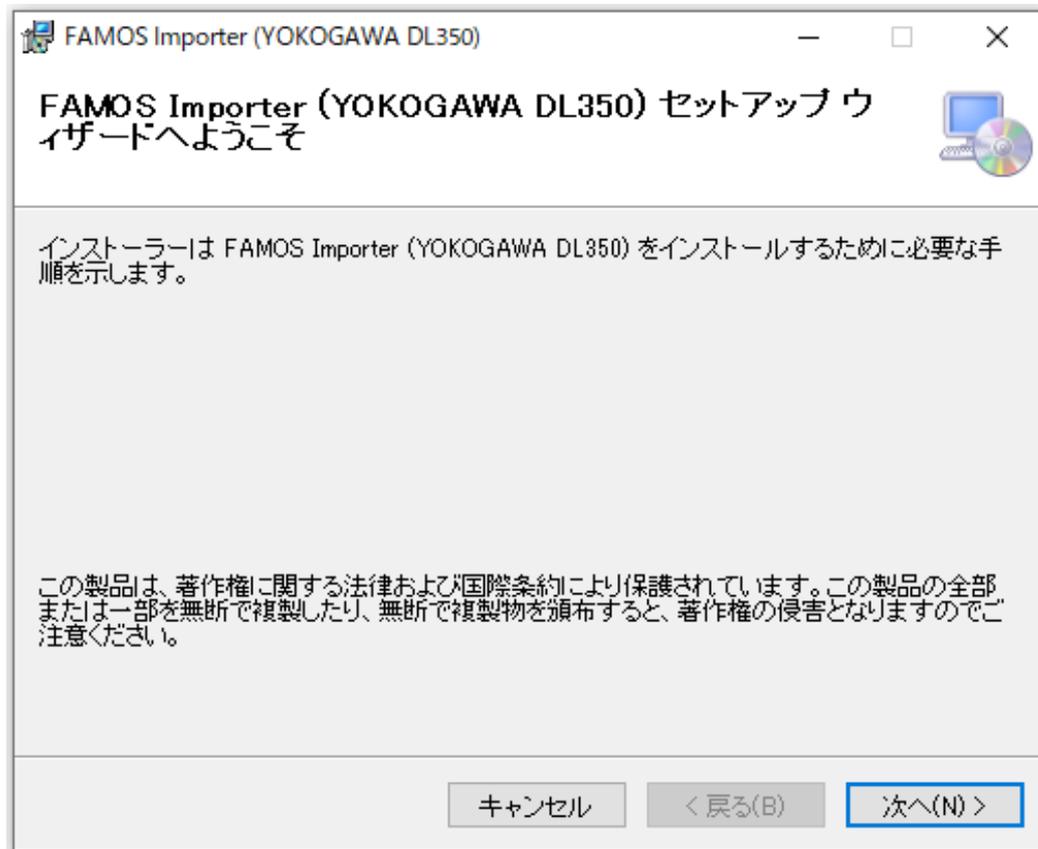
1. ソフトウェアインストーラの CD-ROM を挿入してください。
2. ソフトウェアインストーラの CD-ROM を開き、setup.exe をダブルクリックします。
3. Microsoft VisualC++の指定のバージョンがインストールされていない場合は、初めにランタイムインストーラが起動します。「インストール」をクリックしてください。



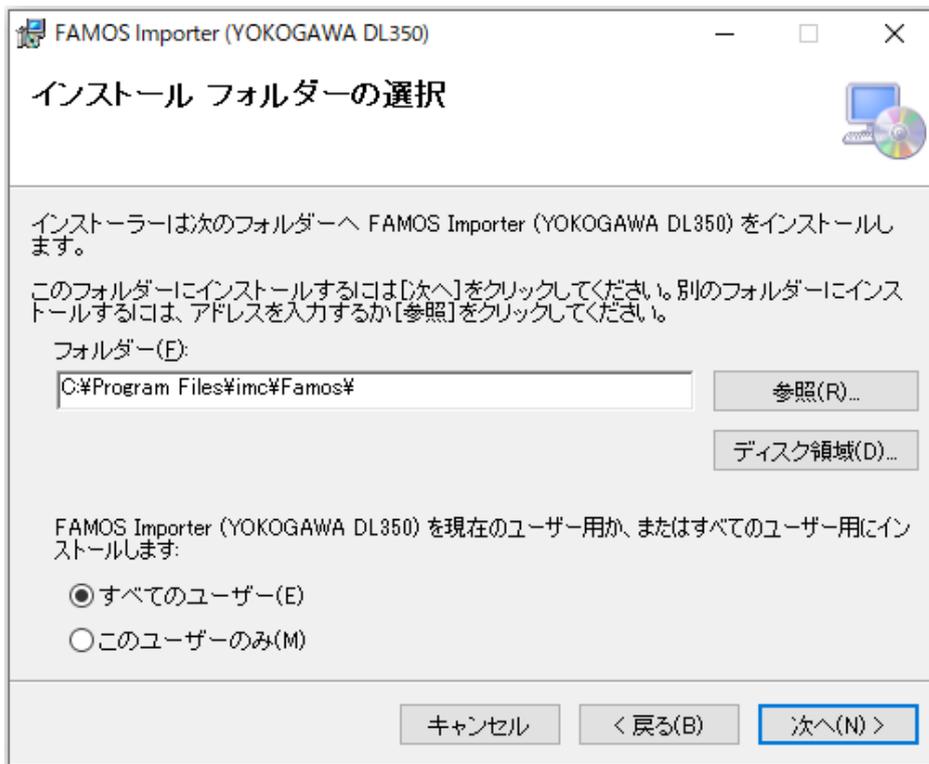
4. 前述 3. で「インストール」を押下した場合は下図のように Microsoft Visual C++のインストーラが起動しますので、「ライセンス条項及び使用条件に同意する(A)」にチェック後「インストール」をクリックしてインストールを開始します。



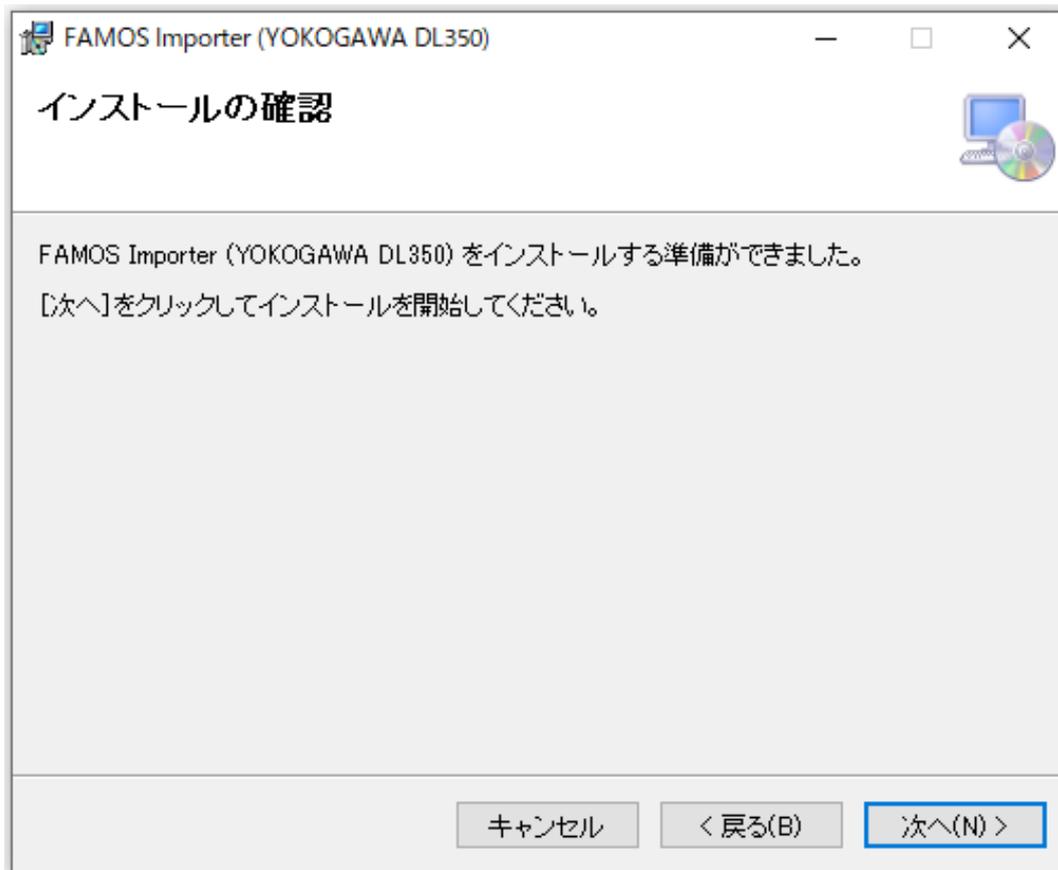
5. 全てのランタイムのインストールが完了すると、本ソフトウェアのインストーラが起動します。

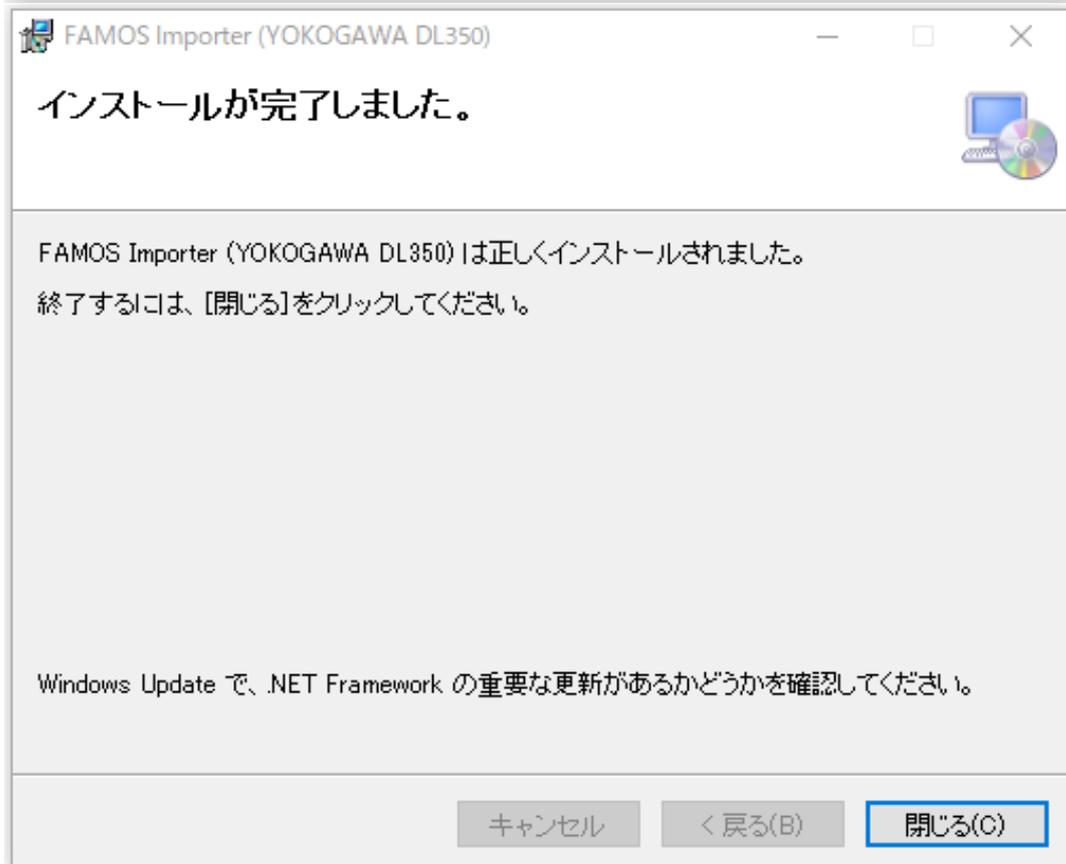
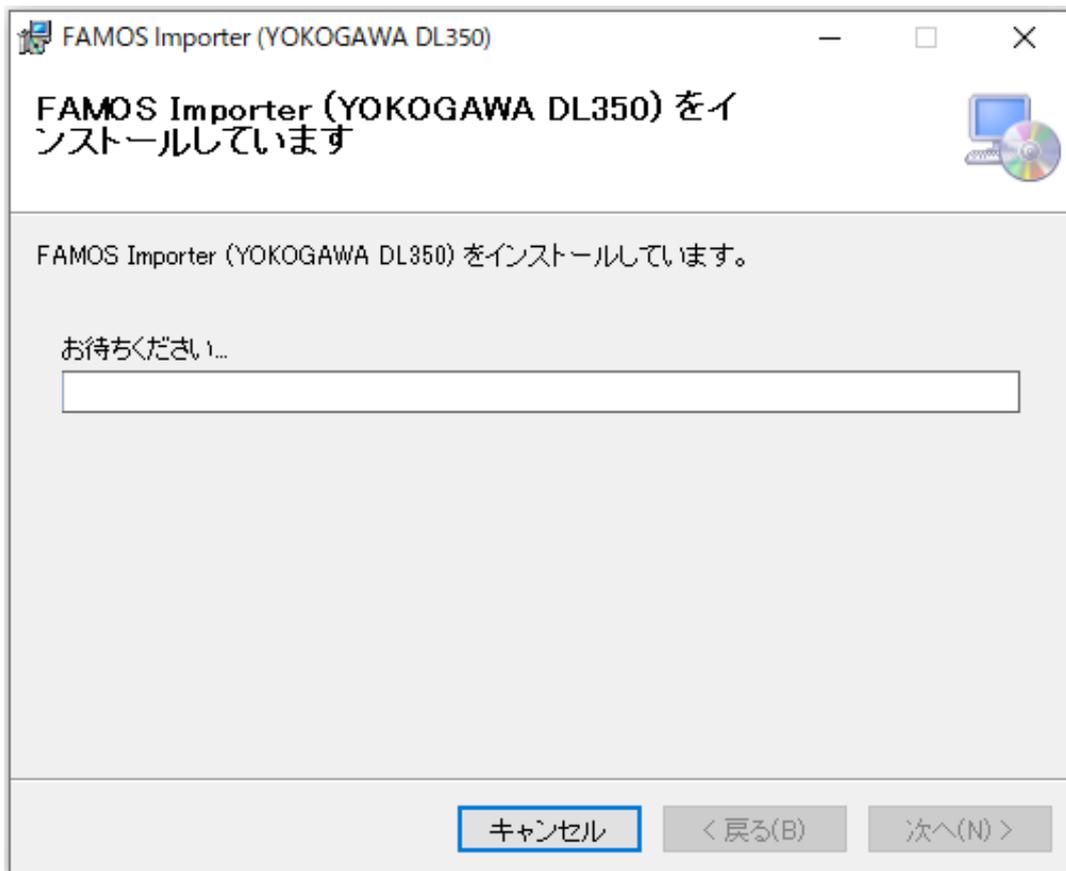


6. 上記画面で「次へ」ボタンをクリックすると、インストールフォルダ選択画面が表示されます。FAMOS を標準の位置以外にインストールしている場合はそれに合わせて変更してください。



7. 以降、画面の指示に従ってインストールを進めて下さい。





2.2.アンインストール

2.2.1. 概要

アンインストール手順は一般的な Windows アプリケーションのアンインストール方法と同様です。

2.2.2. 手順

1. 本ソフトウェアが終了していることを確認し、[スタート]-[コントロールパネル]を開きます。
2. [プログラムの追加と削除]をダブルクリックで開きます。
3. FAMOS Importer (YOKOGAWA DL350) を選択して[アンインストール]をクリックして下さい。



2.3.手動インストール・アンインストール

2.3.1. 概要

本ソフトウェアは、以下の3つのファイルで構成されています。

- <imc フォルダ>%shared%Extensions%YokogawaDI350CsImportWrapper.dll
- <imc フォルダ>%shared%Extensions%YokogawaDI350Importer.dll
- <imc フォルダ>%Famos%Bin%Toyo.DI350Importer.dll

これらは、ソフトウェアインストーラ CD-ROM の imc フォルダ配下に格納されています。



3つのファイルを FAMOS の所定フォルダにコピーすればインストール完了、逆に3つのファイルを所定フォルダから削除すればアンインストール完了です。

2.3.2. インストール手順

1. ソフトウェアインストーラの CD-ROM を挿入してください。
2. ソフトウェアインストーラの CD-ROM を開き、imc フォルダ配下にある各ファイルを FAMOS の所定フォルダにファイルコピーで配置してください。

- Toyo.DI350Importer.dll
imc\Famos\Bin → [FAMOS インストールフォルダ]\Bin
※FAMOS インストール時に指定したフォルダ。標準は C:\Program Files\imc\Famos。
- YokogawaDI350CsImportWrapper.dll
- YokogawaDI350Importer.dll
imc\shared\Extensions → C:\Program Files\imc\shared\Extensions
※FAMOS インストールフォルダに関わらず固定。

2.3.3. アンインストール手順

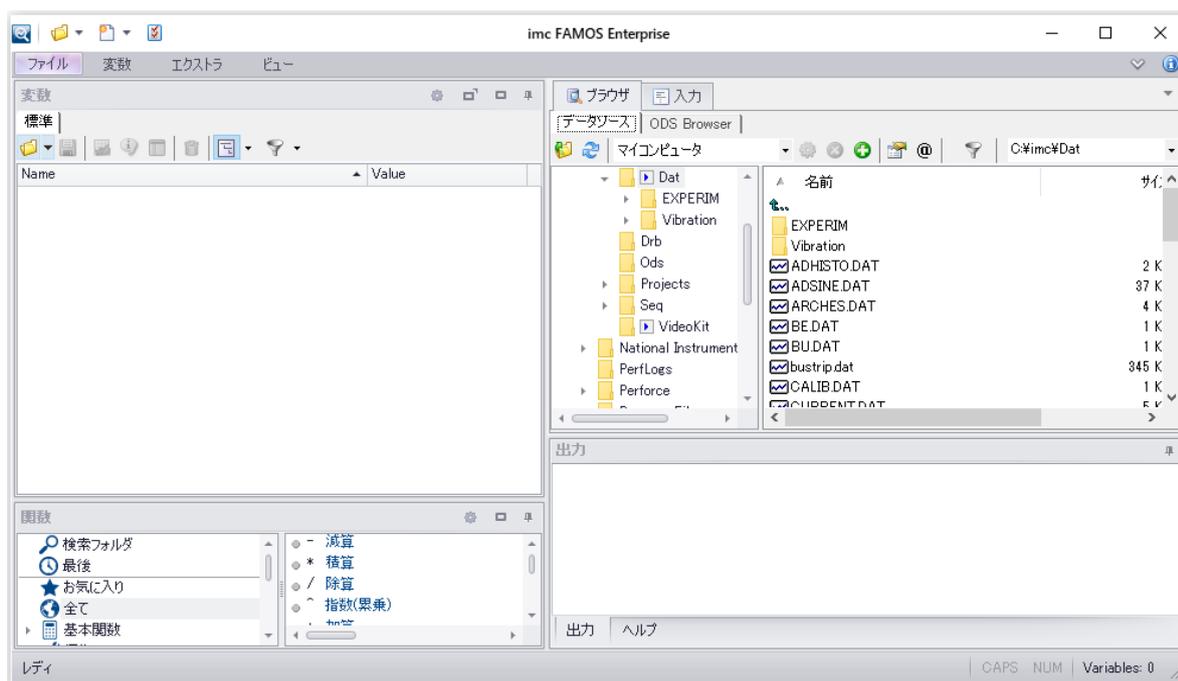
1. インストールでコピーした3つのファイルをすべて削除してください。

3. 起動と終了

3.1.ソフトウェアの起動



[スタート]-[imc]-[imc FAMOS]から imc FAMOS アイコンをクリックして、アプリケーションを起動します。



3.2.ソフトウェアの終了

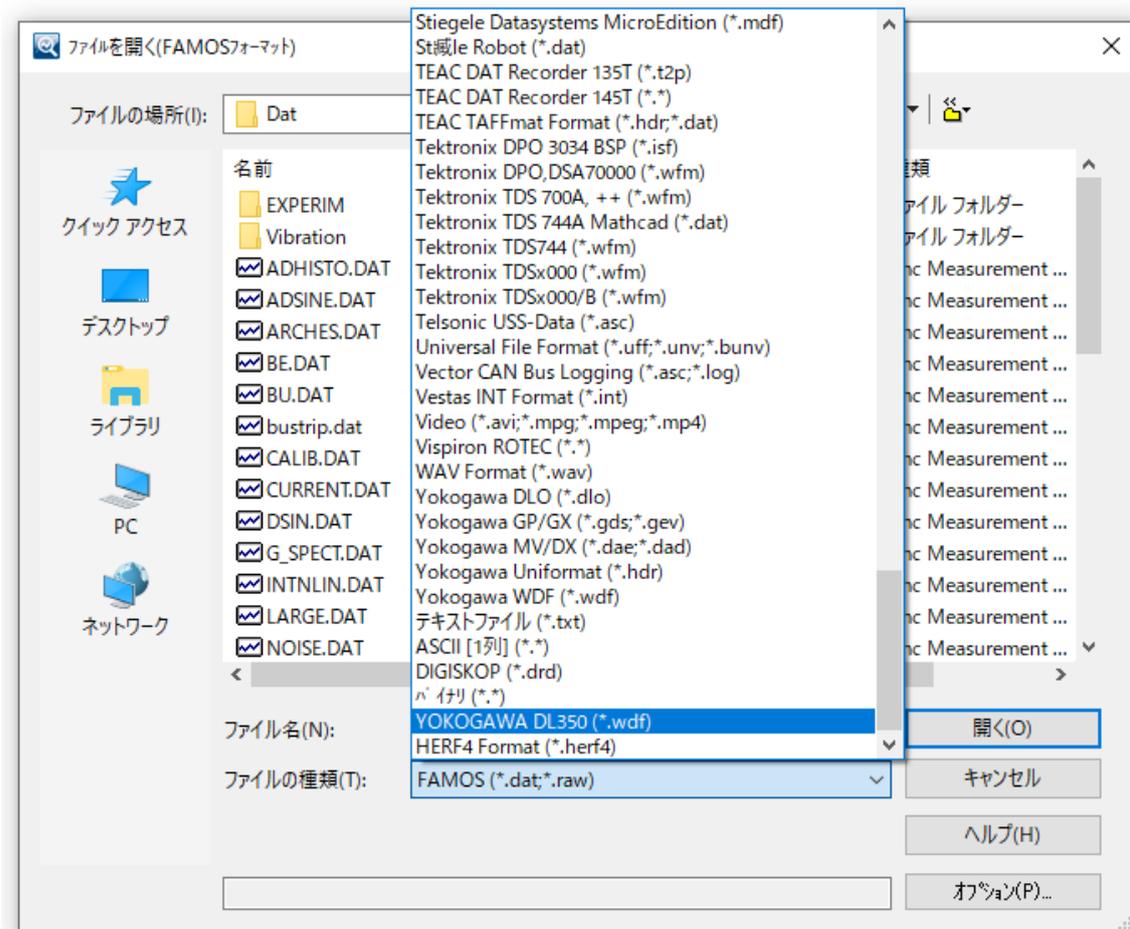
[ファイル]-[終了]をクリックします。又はメインウィンドウ右上の[×]をクリックして終了します。

4. データ読み込み

4.1.DL350

4.1.1. 手順

1. [変数]-[読み込み]をクリックします。
2. ファイルの種類から「YOKOGAWA DL350 (*.wdf)」を選択します。



5. DL350 読み込み情報

本ソフトウェアでは、DL350 データからチャンネル毎に以下の項目を抽出して、FAMOS の標準波形データとして読み込みます。

- チャンネル名
- Y 軸単位
- X 軸単位
- X オフセット (X0)
- ΔX
- 作成日時
- グループ

ヒストリオールで保存されたデータは、複数回分の測定データが記録されている場合があるため、ヒストリごとにグループに分けて表示します。下記形式でグループ名を作成します。

{ファイル名}_Meas{数値}

※数値は何回目の計測結果かを示します。

- データフォーマット

測定データがビットデータ以外の場合は、“実数 4 Byte”データとして取得されます。

ビットデータの場合は、“デジタル”データとして取得されます。

※ビットデータはビット位置ごとに 8 つのデータに分けてチャンネルとして表示されます。

チャンネル名は下記形式で作成されます。

{チャンネル名}_{ビット位置(1~8)}

Appendix A ファイルの種類

本ソフトウェアで用いる主なデータファイルの一覧は以下の通りです。

- 計測データファイル (*.wdf)

DL350 で計測したデータのバイナリファイルとなります。